

国際理解コースを選択して～1期生からのメッセージ～

西高・国際理解コースが4月からスタートしました。2年5組36名が1期生ということになります。生徒たちは、普通コースの生徒と同様に、普通教科の学習、部活動、生徒会・学校行事に主体的に取り組むとともに、国際理解教育プログラムに意欲的に取り組んでいます。

国際理解教育プログラムとしては、

- ・「国際英語」や「比較言語文化」、「世界の思想と文化」などの学校設定科目の学習
- ・名古屋大学大学院GSID（国際開発研究科）の留学生との交流・ディスカッション
- ・国際理解教育に関するイベントの企画運営、国際理解講座
- ・台湾修学旅行、オーストラリアの提携校 Kirwan State High School との交流
- ・県主催の高校生海外派遣・訪問団等への参加などがあります。

生徒たちは、それぞれ自分のペースで、果敢に挑戦しています。

最初は誰もが、知識の乏しさや未熟な英語力・発信力に、不安やとまどいを抱いていたと思います。しかし、プログラムを一つ一つ経験していく中で、生徒たちは自らの殻を破り、社会に目を開き、将来を見据えて歩み始めています。改めてコースとは、先生たちが創るものではなく、生徒たちが創りあげていくものだ実感しています。生徒たちが、「西高だからこそ学べる国際理解教育」と言えるように、自分たちで創りあげようとしてくれています。

そんな生徒たちの声、メッセージをここにお届けします。（2018.11.20 校長・北山）

国際英語の授業は、英文を読むだけでなく世界のさまざまな知識を得られるようになっています。オーストラリアの高校とのオンラインセッションも楽しいし、英語力もアップします。模試の英語の偏差値が上がりました！他の教科もしっかりと学べるので、（大学）進学に心配はしていません。

一人一人個性がありすぎる！
いろんな考えをそれぞれが持っているので、ディスカッションがとても楽しいです。



名大スタディツアーは、留学生の話が聞けるのでおもしろい。大学内も自由に見ることができ、オープンキャンパスとは違ってふだんの大学生の様子がよく分かる。

同じことに興味がある人たちが集まっているので、仲良くなりやすい。クラスの雰囲気もよく、みんなが勉強熱心なので自分も勉強をするようになる。

（私は）英語が好きではありません。でも、文系に行っても理系に行っても英語を使うから、英語が得点源にしたいと思って国際理解コースに入りました。今でも英語はあまり得意ではありませんが、得点はだいぶ上がりました。授業で英語を話す機会が増え、周りの人が意欲のある人の集まりなので、自然と英語の力が身に付きます。

台湾修学旅行 2018.10.16～19



名門・臺南一(高校)中のパティと交流



ホームステイ先の家族と楽しい夕食



故宮博物院の前で・・・

行く前は自分の英語力に自信がなく不安ばかりでしたが、いざ行ってみると思ったより会話ができ、すごく嬉しかったです。

密度が濃く、本当に楽しかった。観光だけでなく、勉強になる場所や予め調べていた場所に行けたので面白かった。修学旅行でホームステイをしたり台湾大学で日本の留学生から話を聞けたりしたのは、貴重でとてもよい経験になりました。

臺南一中（高校）では、昼食を一緒に食べ、授業に参加（体育・バスケットボール、英語、物理、情報など）もしました。パティの家族とは、夜市、ショッピングモール、レストランなどへ出かけたり、ホストファーザーが警察の方だったので警察署を案内してもらったり、リビングで団らんしたり、とても楽しかったです。

国際理解コース 保護者の方からの声

「国際理解コース」を選択しても、進路実現は普通コースの生徒と同じと考えてよいと言われ、コース選択に不安はありませんでした。でも、正直、これほどよい経験をさせてもらえるとは思っていませんでした。選択してよかったと思います。

台湾修学旅行の内容は、ホームステイまであり、貴重な経験だと思いました。修学旅行から帰ってきた後も、台湾の高校生と英語でやりとりをしている子どもを見て、その成長に家族中が驚いています！

台湾では英語を使用してコミュニケーションをとることができたので、自信につながり、勉強へのモチベーションも上がってきたようです。

西高の国際理解コースならではの取組を、いろいろ経験させてもらっています。コースの生徒の皆さんも前向きで、何にでも意欲的に取り組んでいて、子どもはとてもよい刺激を受けています。

5月にまず、名大スタディツアーに参加し、名古屋大学で学びたいという気持ちを一層強く持つようになったようです。

台湾修学旅行や帰国後の近藤敏夫さん（元アジア開発銀行上級エコノミスト）の講演を通じて、留学など海外へ行って学びたいという思いが一層強くなったようです。

台湾の修学旅行では、台湾の高校生との交流やホームステイなど、貴重な体験ができて本当に楽しかったようです。旅行から帰った後も、たくさん話をしてくれて、むしろ羨ましいくらいでした。